

令和2年度決算について

令和2年度の決算につきまして、第58回組合会にて議決されましたので、下記の通りご報告致します。

記

(1) 健康保険

令和2年度の健康保険は、約865億円の収入に対して、約897億円の支出で、7年ぶりの約32億円の赤字決算となりました。当初予算では想定していなかった補助金収入*1が約42億円ありましたが、それでもなお赤字額を埋めることはできませんでした。赤字額は積立金の取崩しで補填しました。

社会保障に対する政府予算が毎年厳しい状況となる中、今後も当健保に同補助金が支給されるかは不確定であり、支給される保証はありません。

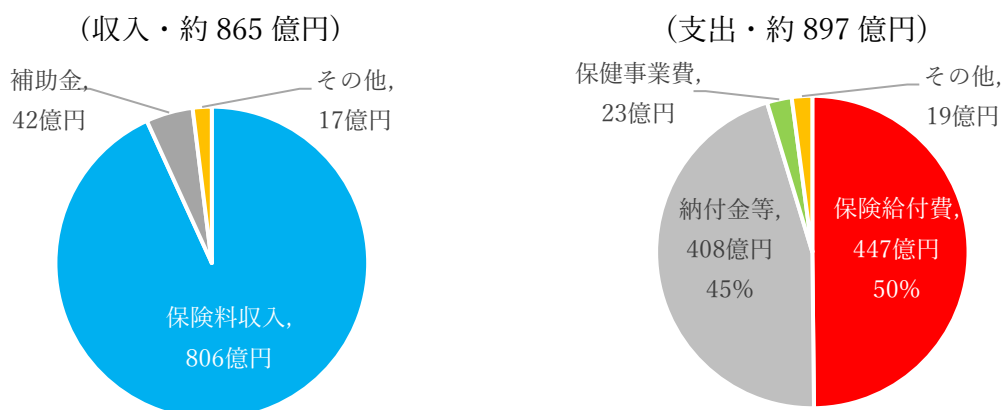
収入は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業主各社の経営状況の悪化から、ボーナスを中心とした被保険者の報酬額の減少のため、昨年より約52億円減の約806億円でした。

支出は、健康保険の本来の目的である医療費など各種給付金の支出が、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどにより、昨年より約30億円減の約447億円で全体の約50%を占めております。

また、高齢者医療制度への支援金、拠出金などの納付金*2は昨年より約15億円増の約408億円、全体の約45%となり高齢者医療制度への負担の増加傾向に歯止めがかかっていません。

*1 高齢者医療運営円滑化等補助金

*2 前期高齢者納付金約206億円、後期高齢者支援金約202億円(令和2年度決算)



(2) 介護保険

令和2年度の介護保険は、約91億円の収入に対し約89億円の支出で、約2億円の黒字ですが、昨年度からの繰越金4億円を除くと単年度では約2億円の赤字となります。

第2号被保険者の皆様からお預かりしている介護保険料は、当健保が市区町村に代わり徴収しているものです。総報酬に応じて負担する「総報酬割」への移行により、比較的報酬の高い当健保の負担が上がったため、介護保険料率を引き上げさせていただきました。しかし、健康保険と同様に被保険者の報酬減による保険料収入の減少などにより、今後もさらに厳しくなる見通しです。

収入計	91億円
保険料収入	87億円
その他収入	0.3億円
繰越金	4億円
支出計	89億円
介護納付金	89億円
その他支出	0.02億円
次年度繰越	2億円

